

生きている白山に学ぶ水と緑と防災 白山砂防通信



令和9年
白山砂防
国直轄化
100周年

SABOは
世界の
共通語

2026.6月号
VOL.63



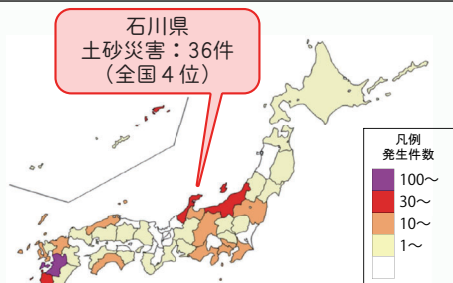
6月は土砂災害防止月間です！



令和7年の土砂災害発生状況

- 令和7年に発生した土砂災害は578件で、約半数の248件は令和7年8月6日から大雨により発生したものです。
- 低気圧や前線の影響で8月7日は石川県、8日は鹿児島県、9日から11日にかけて福岡県、山口県、大分県、熊本県、長崎県で線状降水帯が繰り返し発生し、北陸地方や九州地方を中心に記録的な大雨となりました。
- 石川県で発生した36件の土砂災害は、この時の大雨によるものでした。

令和7年の土砂災害発生状況



出典：国土交通省砂防部 令和7年の土砂災害 (R8.3)

土砂災害発生件数

578件

土石流等： 91件
地すべり： 43件
がけ崩れ： 444件

令和7年8月6日から大雨 248件

土石流等： 36件
地すべり： 11件
がけ崩れ： 201件

令和7年の土砂災害発生件数 上位4県

	都道府県	件数		都道府県	件数
1位	熊本県	131件	4位	石川県	36件
2位	鹿児島県	55件			
3位	新潟県	49件			

石川県での発生件数36件は
8月6日から大雨によるもの

土砂災害発生件数の内訳 上位3県

熊本県 128件
石川県 36件
福岡県 21件

どんな大雨だった？

- 金沢では、7日の日降水量「332.0mm」統計開始以来最大
- 金沢競馬場で厩舎が浸水
- 七尾市中島町の国道249号で道路崩壊 車両3台が転落(重傷1名、軽傷2名)

令和8年3月白山市河合町で地すべりが発生



出典：石川県知事記者会見資料 (R8.3.10)

令和8年3月10日午前7時40分頃、白山市河合町地内(県道44号小松鳥越鶴来線沿い)で地すべりが発生しました。
人的・建物被害はありませんが、斜面のふもとには高齢者入所施設や障がい者入所施設等があり、入所者が緊急避難することとなりました。

すぐに避難できるように
日頃から備えておこう！



地すべりとは



斜面が地下水等の影響によってゆっくりと斜面下方に移動する現象です。
一般的に移動する土の量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。

土砂災害防止月間中の取り組みを紹介！

土砂災害防止月間広報キャラバン

6月1日(月)～5日(金)

土砂災害に対する理解と関心を深めるため、県内を広報車で巡回し、土砂災害による人命、財産の被害の防止に貢献することを目的として広報キャラバンが行われました。

白山砂防特派員もキャラバン隊長として白山市役所等を訪問しました。



キャラバン隊長の
白山市役所訪問



鶴来支所・各市民サービス
センターにも訪問しました

いのちとくらしを守る砂防展

5月27日(水)～6月29日(月)

小中学生から募集した土砂災害の防止に関する絵画・作文や、砂防事業などに関するパネルが展示されます。



いのちとくらしを守る砂防展

5月27日(水)～6月1日(月)
石川県庁19階ロビー
6月3日(水)～6月15日(月)
道の駅「しらやまさん」
6月17日(水)～6月29日(月)
道の駅「織姫の里なかのと」



令和 8 年度の主な事業箇所



① 甚之助谷地区地すべり対策



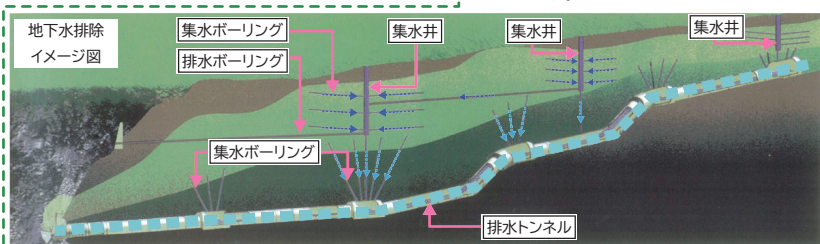
第6号集排水工



甚之助谷地すべり地下水排除のため、大口径集排水工等を整備します。

memo

甚之助谷の地すべりは地下水が原因の一つとして考えられていて、地下水を取り除くことが対策の一つとなっています。そのため、山の斜面に横穴を掘って水を抜く排水ボーリング、その水を集める排水トンネル、集水井などの施工が行われています。

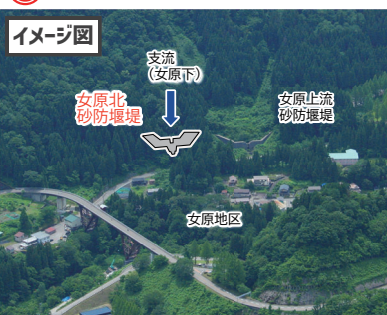


② 尾添川第3号砂防堰堤



大雨時に土砂や流木を効果的に止めるほか、平常時に手取川下流域に必要な土砂を供給する透過型の砂防堰堤を整備します。

③ 女原北砂防堰堤



土砂災害警戒区域等に指定されている女原集落や公共施設を土石流から守るため砂防堰堤を整備します。

④ 猿壁砂防堰堤改築



完成から 60 年以上経過し損傷した堰堤の改築工事を行い、機能の向上を図ります。

白山砂防は 直轄 100 周年 を迎えます！

- 令和 9 年、白山砂防は、国が砂防事業を開始してから 100 年を迎えます。直轄 100 周年を記念して、白山砂防をより広く知っていただけるように、色々な取り組みを行っていきます。
- 「白山砂防〇〇発信プロジェクト」第 2 弾として、尾添川第 3 号砂防堰堤工事を紹介する動画を作成しました！
- 金沢河川国道事務所 Youtube チャンネルで公開していきますので、ぜひご覧ください！



金沢河川 Youtube
配信中！



【開催します！】キャンプ砂防 2026 in 白山 (実施時期：令和 8 年 8 月 24 日～8 月 28 日)

全国からキャンプ砂防に参加する学生を募集し、白山砂防と白山麓地域について学んでいただきます。

キャンプ砂防とは

砂防事業が行われている中山間地域の現状を実際に体験できる場を全国の学生に提供し、地域の抱える問題点、活性化の支援のあり方、防災対策のあり方を学び、中山間地域における砂防の意義・役割を考えることを目的として、全国の国土交通省砂防関係事務所で実施されている取り組みです。





白山砂防直轄100周年の歩み

シリーズ1

霊峰白山を源とする手取川は、日本有数の急勾配河川であり、古くから幾度も洪水、氾濫を繰り返す『暴れ川』として流域の人々に多大なる被害をもたらしていました。

安政5年の飛越地震、明治24年の濃尾地震の際に起きた甚之助谷、柳谷上流の大崩壊は、明治29年の豪雨でさらにその崩壊が拡大し、多量の土石が流出し死者84名、流出家屋320戸という大惨事となりました。

その後も豪雨が降るたびに多量の土石が流出し、手取川の下流で生活する人にとって脅威となっていました。

明治43年に石川県知事に就任した李家隆介氏は、たびたび氾濫を起こす手取川上流の柳谷の荒廃状況を視察しに出かけ、手取川の治水について根本的な問題は、水源地である白山が荒廃していることにあり、崩壊状況を見てそのまま放置することが許されない事を痛感し、翌明治44年より調査に着手、翌大正元年から甚之助谷、柳谷に山腹工事や砂防堰堤を施工しました。白山砂防の始まりです。



李家隆介氏

昭和2年には国営の直轄事業となることが認められ、令和9年に直轄100周年を迎えます。

昭和9年には前年の豪雪による残雪と豪雨の影響で水量が増加し、上流の別当谷が大崩壊し（別当谷大崩れ）、湯谷、宮谷などでも崩壊が発生し、死者・行方不明者112人、流出家屋172戸の手取川大洪水が発生しましたが、砂防工事を行っていた柳谷、甚之助谷では大規模な崩壊は発生しませんでした。

甚之助谷、柳谷では谷底や脇に堰堤を安定させる強い岩盤がなく高堰堤の築造は困難だったため、赤木正雄氏（※）考案の『階段式堰堤群』が施工されていました（※国営の直轄事業の拠点として、白峰村別当出合付近に設けられた事務所の初代所長）。階段式堰堤群は昭和9年の災害時にも大規模な崩壊は発生せず、安定性が立証されたのです。



赤木正雄氏

白山砂防は『砂防知事』と言われた李家が始めたものであり、我が国の『砂防の父』である赤木が初代所長を勤め、我が国を代表する砂防工事として現在に至っています。

当時施工された砂防堰堤は文化的・歴史的価値が文化庁に評価され、平成24年に国の登録有形文化財として登録されています。

砂防工事が始まった当時は建設機械も道路もなく資材の運搬や、作業は全て人力で行われていました。男性は100キロ、女性でも50キロのセメント袋を担いで運ぶこともありました。セメントに混ぜる砂や積み上げる石は、現地で調達し、工事を行っていました。



当時の様子や使われていた機器などは、白山砂防科学館の白山砂防の歴史のコーナーに展示されています。

《甚之助谷、柳谷登録有形文化財》



白山砂防科学館にはもって30kgの石を運ぶ体験コーナーがあるよ！
当時はこの倍の60kgの石を運んだんだって！すごいよね～！





出張！白山砂防科学館 in 白山白峰 若葉まつり

5月24日(日)白山市白峰で開催された『若葉まつり』で、白山砂防科学館のブースが開設され、土砂災害についてのパネルの展示や、リモコンパワーショベルでの無人化施工の体験コーナー、会場にしながら甚之助谷の工事現場周辺に行けるVR体験コーナーを開設、たくさんの子供たちが体験をしました。

また、白山砂防特派員による『白山砂防〇×クイズ』が開催され、最後まで勝ち残った参加者には、百万貫の岩や砂防堰堤、砂防キャラクター『サボちゃん』の缶バッジ、キーホルダー、マグネットなどがプレゼントされました。

〇×クイズに挑戦する参加者



無人化施工やVRを体験する参加者



白山砂防キャラクター
さぼちゃん

白山手取川ジオツアー開催！

《見学コース》

参加者 12名

白山砂防科学館 (昭和9年手取川大洪水の3Dシアター鑑賞) → 百万貫の岩 → 宮谷川 (百万貫の岩が流出したといわれる場所)



白山砂防科学館見学



県指定天然記念物 百万貫の岩
(高さ約16m、重さ約4839t)

白山砂防科学館で『昭和9年手取川大洪水』の3Dシアターを鑑賞。百万貫の岩が流れ出す様子におどろきました。

その後、実際に土石流によって運ばれた『百万貫の岩』を目の前に、水害の脅威を実感する参加者でした。



白山砂防科学館・見学のご案内

白山砂防科学館は自由に見学する事が出来ます。ご希望に応じ解説も致しますのでご相談下さい。団体見学の場合は前もってご予約下さい。詳しくは白山砂防科学館までお問い合わせ下さい。

【問い合わせ先】

白山砂防科学館 入館無料(休館日:毎週木曜日)
TEL 076-259-2990 FAX 076-259-2991

◆編集・発行◆

国土交通省金沢河川国道事務所
流域対策課

〒920-8648 金沢市西念4丁目23番5号

TEL 076-264-9913

FAX 076-233-9612

Eメール kanazawa-ryutai@hrr.mlit.go.jp

「白山砂防通信」のバックナンバーは、白山砂防ホームページ(<https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/hakusansabo/>)で閲覧できます。